



文京 白ばら

題字 和田 清

第 64 号

文京区明るい選挙推進協議会

文京区選挙管理委員会

〒112-8555 文京区春日1-16-21

☎ 5 8 0 3 - 1 2 8 7

10月22日(日) 衆議院議員選挙

投票時間 午前7時～午後8時

最高裁判所裁判官国民審査

みんなで行こう。明るい選挙。



会長のご挨拶

明るい選挙推進協議会会長 青木 一哉



今年の夏は、水害で地方によっては、大変な被害を受け、苦労されていますが、早期の復興を願わずにはいられません。都議選も選挙管理委員、推進委員、事務局の努力の結果、無事に終えることができました。模擬選挙でも参加下さる中学、高校が増えています。

新たな試みとして、若者を対象とした啓発グループ文京＜Love Supporters＞を募集した結果、推薦以外の積極的な参加者が多数を占め、これからの活躍が期待されます。推進委員も年々高齢化が進み、若者グループが選挙啓発に加わることで、明るい選挙推進委員にも良い刺激となります。文京区における選挙啓発体制も、これまでの選管、推進委員、事務局の三輪車から、若者グループを加えた四輪車になります。

推進委員や立会人の他に、私の元勤めた企業の上司、行政相談の先生、大学の先輩、スポーツ仲間にご指導を得て、無事一年半が過ぎました。これからも教えを忠実に守り、ご指導頂けるような人間で在りたいと心より思っております。秋に入りますと夏の疲労が出てまいります。お身体を大切に、ご協力頂ければ幸いです。

委員長就任のご挨拶

選挙管理委員会委員長 柳内 克夫



日頃より文京区選挙管理委員会にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今夏の東京都議会議員選挙につきましては、特に大きなトラブル等もなく、皆様方のご協力により無事に執行することができました。本区の投票率は、56・50%と4年前の前より10・28ポイント上回り、東京23区26市の中では第2位と上位をキープいたしました。

これもひとえに、明るい選挙推進協議会、明るい選挙推進委員の皆様のご努力の賜物と心より感謝申し上げます。

また、若年層啓発グループ『文京 Vote Supporters』を8月に結成し、活動を開始いたしました。今後の活躍を大いに期待しております。

当委員会といたしましては、今後も公正な選挙の管理執行、若年層への啓発、さらなる投票率の向上等に努めてまいりますので、皆様より一層のご協力をお願いいたします。



平成29年東京都議会議員選挙の結果

今回の都議会議員選挙は、3年後の五輪・パラリンピックや豊洲市場の移転問題、当時は知事が代表の地域政党などが連日メディアに取り上げられ、全国的な注目を集める一方で、事務局としては、選挙期日が早い段階で決まる予定選挙のため、準備に万全を期すことができました。

選挙の執行にあたっては、都道府県選挙特有の住所移転による投票資格に関する公職選挙法令の一部改正が直前の6月に施行されたことや、文京スポーツセンターの改修工事に伴い、開票所が文京総合体育館に変更になったことなど、新たに対応すべき事項も多々ありましたが、滞りなく無事に終えることができました。また、改めまして、関係各位の皆様にお礼申し上げます。

今回選挙の投票率ですが、東京都全体では51・28%で4年前（43・50%）を7・78ポイント上回り、文京区では、前回（46・22%）より大きく10・28ポイント上がって、56・50%となり、東

東京都議会議員選挙 23区投票率

区名	順位	投票率(%)
千代田区	4	54.28
中央区	14	50.74
港区	23	44.35
新宿区	20	49.34
文京区	2	56.50
台東区	10	51.46
墨田区	8	51.73
江東区	3	54.56
品川区	6	52.00
目黒区	17	50.36
大田区	14	50.74
世田谷区	12	51.33
渋谷区	22	46.00
中野区	16	50.72
杉並区	11	51.42
豊島区	18	50.12
北区	1	57.16
荒川区	5	52.94
板橋区	9	51.60
練馬区	7	51.99
足立区	13	50.92
葛飾区	19	49.96
江戸川区	21	47.80
東京都合計		51.28



京23区26市では第2位と、高順位を維持することができました。

この結果から、文京区を含む東京都全体においても、今回の選挙が都民にとって、一定の関心をもって受け止められたものと推察されます。

引き続き若年層への啓発に注力

今回も、若年層啓発の投票立会人募集や、18歳新有権者へのバースデーカード送付のほか、選挙インターンシップとして、大学生を投票所に配置し、投票事務を体験してもらいました。いずれの取組みも世間から注目されるなど、一定の成果が得られたものと感じております。

しかしながら、十代の投票率は48・77%、二十代前半では、32・56%（前回28・84%よりプラス3・72ポイント）、二十代後半では、35・29%（前回26・91%よりプラス8・38ポイント）と依然として低く、啓発の効果が垣間見えたとはいっても、今後も対応すべき大きな課題であることを再認識しました。

「Vサポ」メンバー 初顔合わせ!

若者の政治参画意識や投票率の向上を目指す若年層啓発グループ、「文京Vote Supporters」は、4月から立上げメンバーの募集を始め、8名の方から申込みをいただきました。

8月17日（木）午前、メンバーが選挙管理委員会室に集まり、初顔合わせを行いました。

この日の参加メンバーは5名。自己紹介やグループの活動方針についてなど、和やかなムードの中で話し合いが行われました。今後のグループ活動に注目しましょう。



「バースデーレター」を新有権者へ発送！ 各種メディアに取り上げられました

昨年の選挙権年齢引き下げを機に、18歳の新有権者を対象に、投票の方法や選挙の豆知識などをまとめた小冊子「バースデーレター」を作成し、新たに選挙人名簿へ登録されるタイミングで送付しています。

今年度は、より多くの方の目に留まり、実際に見ていただけるよう、バースデーレターのデザインとマッチした専用の封筒でお送りしています。

6月定時の選挙人名簿登録と、7月執行の東京都議会議員選挙時の登録を合わせて、418名の新有権者へバースデーレターを送付したところ、その取組みが注目を集め、各種メディアで取り上げられました。

特にNHKテレビでは、バースデーレターの封入作業から、発送のために郵便局へ持ち込む様子まで、大きくクローズアップされた放送となりました。



●活字媒体…読売新聞／産経新聞／都政新報
●映像媒体…NHK（首都圏ニュース845）／フジテレビ（アタタイム）



東京都知事選挙表彰

平成二十九年四月五日、東京都庁のレセプションホールに於いて、平成二十八年七月三十一日執行東京都知事選挙の表彰式が催され、シティ音羽（音羽二丁目15番15号）管理組合に感謝状が贈られました。当日は、シティ音羽管理組合理事長の佐藤修三様が、表彰式に出席されました。

これは民間施設でありながら、突然の東京都知事選挙執行にも関わらず、期日前投票所として施設を開放し、選挙の円滑な執行に多大なる貢献をしたことが讃えられたものです。



花まつり啓発活動

7月の東京都議会議員選挙に向け、今年も花まつりでの啓発活動を実施しました。4月29日の根津神社つじまつりには31名、6月17日の白山神社あじさいまつりには26名の明るい選挙推進委員らが参加しました。

今年も花もよく咲き誇り、当日の会場ではイベントが催されて人通りも多く、効果的な啓発を行うことができました。



熱心に声掛けしながらティッシュ等を配る推進委員と、それに対し、笑顔で受け取る来場者の様子が印象的でした。選挙啓発の目的である、投票参加と明るい選挙の推進にとって、一つの意義がある活動となりました。



若年層の声

選挙事務を経験して



渡部 さくら
都内に越して3か月しか経っていません。

昨日、選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられ、選挙権を手に入れて1年。都議会議員や選挙についてもっと知りたいという気持ちで、インターシップとして今回の選挙事務に臨みました。

わかったことは、選挙事務は比較的単純な作業の繰り返しであるが、絶対に間違いが許されないということ、投票管理者・立会人の存在、投票済証明書についてなどです。

一日の選挙事務で経験したことは、投票用紙の交付や、投票に来た住民を案内する役割でした。その多くの時間で余裕を持って事務を行うことができませんでした。その他にもいくつかの役割がありましたが、忙しすぎると感じる事柄はないので、何か問題が起こった場合でもカバーできる体制をとっているのかなと思いました。最後になりましたが、貴重な体験をすることができてよかったです。ありがとうございました。

若年層の声

投票立会人を経験して

山本 麻莉子

7月2日の都議会議員選挙で投票立会人を務めさせていただきました。そんな中、気づいたことが二つありました。

一つ目は、投票所にはたくさんの方が来られます。その傍らで、投票事務に関わる方々がご尽力されていたということ。全体的に人が迷わずスムーズに投票ができるよう整備をし、高齢者の方・身体の不自由な方・小さなお子様を連れた方などへの配慮を欠かさず行っていました。

二つ目は、昨年、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられました。若者の投票者数が少なかったということです。今後の社会を担っていく若者が、積極的に投票へ行くことを願います。私もこれを機会に政治に関心を持って、必ず投票へ行くと思っています。



岩間 優

都議会議員選挙の立会人を務めさせていただきました。改めて投票することの重要性を感じました。早朝から、年輩の方の出足は良かったものの、若い方は昼過ぎになってもごくわずかでした。若者の投票率が低いことは以前から言われていたことです。立会人の経験を通して、改めて実感しました。若いころから投票所に足を運ぶことの重要性を知っていれば、その後も習慣的に選挙のときには必ず行くようになると思います。そのように感じられます。主権者教育の重要性にも気付くことができました。また、投票所に行くことで選挙にも関心を持つことができます。

ぜひ、多くの若い人もその意識を高く持つてほしいです。



るびー



湯島地区
鎌倉 精一

私が明るい選挙推進委員を拝命してから三年半が経過しました。この三年半の間に選挙を取り巻く環境は大きく変化しました。

一、選挙権年齢が「18歳以上から」に引き下げられて若者がより政治に関心を示すようになった事。

二、期日前投票の方法が従来より柔軟化、多様化した事により投票がしやすくなった事。

三、投票所の場所が従来より大幅に多様化してより投票しやすくなった事。

等にいずれも従来と比べてより画期的な改革がなされたものと考えます。

幸いにして昨年の参議院議員選挙、都知事選挙は1位、更には今年7月の都議会議員選挙に於いては2位と、我が文京区は、都区市に於いて投票率で高順位を誇っております。この伝統ある誇らしきレベルを今後も維持できるよう、微力乍らお手伝いして参りたいと思っております。

選挙管理委員就退任のお知らせ

左記のとおり選挙管理委員の交代がありました。

5月8日、角野英毅前委員のご逝去に伴い、補充員順位第1位の田口孝一氏が、新たな委員に就任しました。

退任（5月8日付）

委員 角野 英毅

就任（5月9日付）

委員 田口 孝一

選挙管理委員（10月10日現在）

委員長 柳内 克夫

職務代理者 堀内 喜司夫

委員 南部 恵一

委員 田口 孝一

明るい選挙推進委員の異動(敬称略)

退任（3月31日付）

音羽地区 箕輪 正晴

湯島地区 遠藤昭一郎

湯島地区 佐藤 順子

汐見地区 石幡 周子

汐見地区 岩井 久子

就任（4月30日付）

礪川地区 諏訪 紀子

（9月13日付）

大原地区 原田 実

10月からの主な啓発活動予定

話しあい強調月間

10月1日(日)～10月31日(火)

東京都明るい選挙推進大会

11月1日(水)

府中の森芸術劇場

東洋大学学園祭における啓発

11月4日(土)

東洋大学白山キャンパス

音羽中学校選挙出前授業・模擬投票

11月13日(月)

明るい選挙推進委員管外視察

11月21日(火)

日産自動車横浜工場、横浜税関

第一中学校選挙出前授業・模擬投票

11月28日(火)

白ばらセミナー・若者フォーラム

12月16日(土)

文京シビックホール(小ホール)

ポスターコンクール作品展示

2月19日(月)～22日(木)

文京シビックセンター(1階アートサロン)

「文京白ばら」第65号発行

3月10日(土)

話しあい強調月間

3月1日(木)～3月31日(土)

※今年度の地区別座談会は、10月の衆議院議員選挙執行に伴い、中止となりました。

選挙人名簿登録者数(9月1日現在)

男性	83,475人
女性	94,213人
合計	177,688人

編集後記



文京区では、十八歳新有権者の方々に「バーズデーレター」を送付して、投票を呼び掛けております。

この試みは、各種メディアで取り上げられて、大変好評を博しております。更にこのたび、若年層啓発グループ「文京Vote Supporters」を立ち上げて、活動を開始いたしました。企画立案等を同年代が行い、それを実行していくことで、若年層の政治および投票参画意識の向上を図ることが目的であり、これによる波及効果として、若年層の投票率改善が期待されるものと思っております。

若年層の方々が、日頃から政治にも関心を持って、情報を収集し、選挙を身近なものと考えて、将来に反映される大切な一票の重要性を自覚して、棄権することなく、積極的に投票して頂きたいと思っております。

明るい選挙推進の啓発機関紙である「文京白ばら」が、より多くの区民の方々に見て頂けるように、そして、一層の投票率向上に繋がるように、明るい選挙の推進啓発活動を続けていくことと思っております。(武田 記)

《編集委員》

岩瀬 弘子・綱島 悦子・坂巻 三登
筒井 幸代・鎌倉 精一・尾藤 育美
武田 文夫・富所由紀子・小野 朋子
(地区順)